

『しまの宝』

新年の抱負

しま留学生の帰省や大雪での時短登校で1月8日の始業式に新年の抱負を発表できなかったため、1月20日に集会を開き発表会を行いました。新学期が始まって既に2週間が過ぎましたが、子ども達の気持ちは、「これから頑張るぞ」という強い気持ちが表れていました。小中学校それぞれに、代表が発表しました。

蒼士さんは帰省した自宅で、学校の指導に従って、しっかりコロナ予防対策を心がけてくれたこと、お母さんの手伝いもしっかりできたこと、頼もしい3学期の抱負を発表してくれました。

彩さんは、3学期の抱負を三つ立ててくれました。これまでのやって来たこと以上に、さらに頑張ることをみんなの前で誓ってくれました。2人の思いが実現できるよう、職員一同サポートして行きたいと思います。

『冬休みの思い出と3学期がんばりたいこと』

5年 永田 蒼士

ぼくの冬休みの多くは、部屋ですごしました。新型コロナウイルス感染症の予防のためです。こまめな手洗いや、うがいをしました。今までの正月とちがって、いろいろな場所へ出かけることができず、残念な気持ちになることもありました。だけど、お母さんの手伝いで、掃除機をかけたりふろ掃除をしたりとがんばることができました。妹ともひさしぶりに遊ぶことができて、うれしかったです。

ぼくが3学期がんばりたいことは、持久走や短縄跳びの練習です。寒いけれど、毎朝少しでも運動をして体をきたえ、体力をつけたいです。そのためにも、前日のうちに宿題をしたり、忘れ物をしないように準備をしたりしなければなりません。だから、自宅で、責任をもって自分ですべきことをやるようにします。

敢為の精神で、皆さんがんばりましょう！



↑上手に抱負が発表できました。蒼士さん
『3学期の抱負』

1年 一ノ瀬 彩

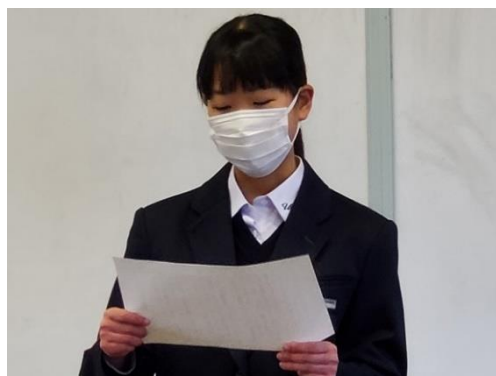
一つ目は、困っている人がいないか周りを見ながら行動することです。2学期はできたところもあったけど、できなかったことが多かったので、3学期は意識しながら行動したいです。

二つ目は、部活です。新人大会では、あと少しというところで、1セットとれていたのに、体力をしっかりと付けて試合で勝てるように1日、1日の練習をしたいと思います。

三つ目は、勉強です。3月には、学年最後のテストがあります。テストの点数が上がってきているので今までで、一番高い点数になるように、授業の復習をしたり、自学ノートを提出したりできるようにしたいです。

最後の学期なので、この三つのことを意識しながら生活したいです。

↓三つの熱い決意を発表しました。彩さん



児童生徒会任命式

1年間の学校のリーダーが12月末に決定し、新学期始めに任命式を行いました。会長に大櫛優樹さん、副会長に狩野潤奈さん、書記に狩野琉嘉さん、専門委員長に中野紗菜さん、蛭間壽之亮さんが任命されました。一人ひとりに任命書を渡し、久賀小中学校の伝統を継続すること、新しいことにチャレンジすることで更に飛躍することができる学校を目指して頑張ってもらいたいと伝えました。久賀小中学校を誰もが誇れる「いい感じ」の学校に作りあげてほしいと願っています。

今後、この5人を中心として、地域の方々との交流などをお願いすることがあると思いますので、よろしくお願い致します。



↑任命書を手にし、気持ちを新たに！

リモートに挑戦！

コロナ禍で、会議や研修が軒並み中止になる中教育現場でもリモートが導入されています。本校でも、市教委から配付されている機器や本年度の予算で買いそろえた機器を使って、授業だけでなくいろいろなことに使ってみようと奮闘中です。

①授業（理科）

五島市の再生可能エネルギーに関する基本構想を担当者からお話を聞く機会を設け、市役所と教室を結んで、「目指す将来像」を聞くことができました。五島市が海上風力発電や潮流発電の導入をすすめ、最先端の取り組みをしていることを聞き、自分の考えをまとめるというものです。ヘッドフォンを使うので集中できます。



②しま留学面談

来年度の新規のしま留学の児童生徒の募集にに応じて、全国から久賀島を希望しているご家族とリモート面談を行いました。本来なら2学期から少しずつ学校及び久賀島の見学を行っていたのですが、新型コロナの影響で、本年度はいまだに見学者がゼロです。

リモートによる面談は初めての試みで、学校側も留学希望のご家族も戸惑いは隠せませんが、初の面談はうまく繋がって、40分ほどの面談が終了しました。これからも、リモート面談を実施し、新規のしま留学児童生徒の受け入れを準備したいと思っています。現在籍の子ども達に新しい風が吹きこまれると良いです。

③新年初の CatchE

新学期初めての CatchE はいつも来てくださっているダン先生が、やはり新型コロナの影響で学校に来られなかったため、リモートで指導をしてくれました。これまでの体験から、英語に興味をもってきた子ども達は、リモートでダン先生と繋がって活動するのは初めてでしたが、子ども達はこれまで授業などでリモートに慣れているので、何の違和感もなく進められました。今年初めての CatchE が新しい試みでできたことは、職員にも子ども達にも良い経験になりました。

コロナ禍で、悪いことばかりを思い、気持ちが落ち込むことも多いですが、困っていることを逆手にとって、それでも前に進むことをしなければとあらためて考えさせられた時間でした。